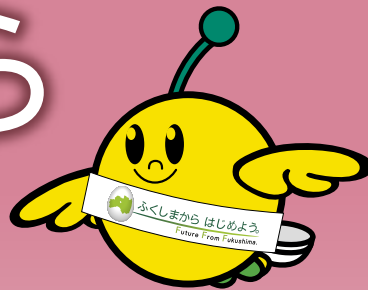


ふくしまからはじめよう。



福 | 島 | 県 | 広 | 報 | 誌
ゆめだより

4月号

2013 No.237

年6回(偶数月)
皆さんのもとにお届けします。

特集

復興加速

福島県予算 1兆7320億円



ふくしまからはじめよう。

福島県

【編集・発行】福島県広報課
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
☎024(521)7014

活躍を誓う
福島ユナイテッド FC の選手

もくじ

ふくしまの宝「爛」	2
特集：復興加速	
福島県予算 1兆 7320億円	4
キビタンのわかる県政	7
変わります！県政番組	7
ふくしまの食	8
キビタンがゆく／優勝力士に知事賞の授与／ハンサムウーマン	9
ふくしまの今	10
地域ゆめ情報	12
県からのお知らせ	14
施設インフォメーション	15
ゆめクイズ	16

【表紙】

サッカーの福島ユナイテッドFCは、日本フットボールリーグ (JFL) 昇格を果たし、3月から2013年のシーズンが始まりました。この日は、^{キム・コンチョン}金功 青選手 (MF・左) と^{小林康剛}小林康剛選手 (FW・右) の二人がコーチを務める福島ユナイテッドFCスクールの生徒たちと記念撮影。Jリーグを目指す選手は子どもたちにとってあこがれの的。その選手に指導してもらえる子どもたちの笑顔は輝いていました。JFLの舞台は福島の元気を発信できるチャンス。選手・スタッフが一丸となって、全国各地で熱戦を繰り広げます。

ふくしまの宝



1. 菜の花と猪苗代湖 (猪苗代町) 農 (社) 猪苗代観光協会 ☎ 0242-62-2048



2. ごしやま五社山のツツジ (広野町)
 関広野町総務課企画グループ ☎ 0240-27-2114



3. カタクリの花 (只見町)
 関 (一社)只見町観光まちづくり協会 ☎ 0241-82-5250



4. クマガイソウ (福島市)
 関松川町観光協会 (福島市松川支所内) ☎ 024-567-2111

野に山に、街に降り注ぐ
 暖かい春の日差し。見慣れ
 た雪景色から、彩り豊かな
 春の息吹へ。誰もが心躍る
 季節の到来です。
 色とりどりに華やかに、
 あでやかに、またかれんに
 咲き匂う花々は、ほんのひ
 とときの輝きの中で、いろ
 んな表情を見せてくれます。
 春のそよぐ風も、私たち
 を誘っているかのようです。
 魅力あふれる花景色を追っ
 て、心洗われる花たちに会
 いに、県内各地に出かけて
 みませんか。

ふくしまの宝

春爛漫。暖かな日差しの中、
 咲き誇る福島の花々は
 愛すべき宝です。



5. 芝桜 (平田村)
 関平田村産業課 ☎ 0247-55-3115



6. 桜峠 2001 本の大山桜 (北塩原村) 関北塩原村商工観光課 ☎ 0241-32-2511



7. 菅ノ沢溜池の桜 (新地町) 関新地町観光協会 ☎ 0244-62-2112

福島県予算 1兆7320億円

復興 加速

平成25年度予算は、「復興加速化」の予算と位置付け、「復興元年」として震災からの復興と原子力災害からの再生を図った前年度の取り組みに、さらに大きな実績を積み重ねていきます。総額は1兆7,320億円で昨年度から1,556億円の増、その半分以上にあたる9,168億円が震災・原子力災害対応に充てられます。新しい県総合計画「ふくしま新生プラン」の基本目標「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」の実現に向け、県域全体の復興を進めていきます。



知事 メッセージ

決意を新たに、復興を加速

福島県知事 佐藤雄平

大震災から2年が経ちました。

県ではこれまで、避難されている方々の生活支援を始め、除染、健康管理、子育て環境の整備、食の安全・安心の確保、産業の再生など、全庁を挙げて、復興を着実に進めるための土台を築いてまいりました。

「県民の皆さんがもっと復興を実感できるようにしたい。」そう思いで編成した県の新年度予算は1兆7千億円、県政史上最大規模となりました。

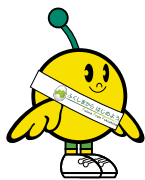
新しい総合計画「ふくしま新生プラン」に掲げた13のプロジェクトに重点的に予算を配分し、これを効果的に執行し、復興を加速してまいる考えです。

先日開催した「3・11ふくしま復興の誓い2013」では、震災の教訓を心に刻み、復興への決意を新たにしました。

「ふくしまからはじめよう。」

この言葉を胸に、「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。





平成25年度一般会計当初予算の内訳

歳入 総額 1兆7,320億円			歳出 総額 1兆7,320億円		
	平成25年度	前年度比		平成25年度	前年度比
県税	1,802億円	+200億円(+12.5%)	人件費	2,630億円	△45億円(△1.7%)
地方交付税等	3,203億円	△16億円(△0.5%)	扶助費	568億円	△33億円(△5.5%)
国庫支出金	4,416億円	+1,309億円(+42.1%)	公債費	1,167億円	+17億円(+1.5%)
繰入金	4,676億円	+319億円(+7.3%)	投資的経費	3,646億円	+733億円(25.2%)
県債	809億円	+46億円(+6.0%)	一般行政経費	9,309億円	+884億円(+10.5%)
その他	2,414億円	△302億円(△11.1%)			

ふくしま新生プラン

基本目標

夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”

ふくしまを支える
3つの柱

礎と3本の柱

活力

安全と安心

思いやり

人と地域

“新生ふくしま”の
実現を
目指します！

重点 プロジェクト

人口減少・高齢化対策と
12の復旧・復興対策

ふくしま新生プラン、復興計画に基づき、
復興・再生に係る取り組みを最優先に予算編成

復興推進
“新生ふくしま”をめざして、

震災・原発事故からの復興・再生に重点を置いて県づくりを進めるため、平成24年12月、新しい県総合計画、「ふくしま新生プラン」を策定しました。

ふくしま新生プランでは、人口減少・高齢化対策を重点プロジェクトに位置付けました。また、県復興計画の12の重点プロジェクトを総合計画にも位置付け、復興計画と一体的に進めていくこととしています。

平成25年度当初予算は、復興計画に掲げた「安心して住み、暮らす」「ふるさとで働く」「まちをつくり、人とつながる」の3分野12プロジェクトや、人口減少・高齢化対策プロジェクトに優先配分し、復興を推進していきます。

ふくしま新生プラン 1.3 の重点プロジェクト

■人口減少・高齢化対策プロジェクト



人口減少・高齢化対策	500 億円	人口減少・高齢化の影響の軽減、人口の県外流出の抑制、出生数の回復等の取り組みなど
------------	---------------	--

プロジェクト別の事業費を紹介します



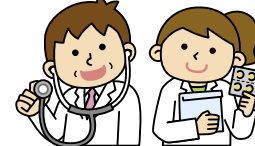


■県復興計画の重点プロジェクト


安心して住み、暮らす：5,104 億円 (除染・健康管理など)

環境回復	生活再建支援	県民の心身の健康を守る	未来を担う子ども・若者育成
2,600 億円	1,875 億円	287 億円	342 億円
除染の推進、食品の安全確保、廃棄物などの処理、環境回復の研究機能などを備えた拠点の整備 	県内外の避難者支援、帰還に向けた取り組み支援、帰還後の生活再建支援、長期避難者などの生活拠点の整備、長期にわたり避難している方への支援	県民の健康の保持・増進、地域医療などの再構築、最先端医療提供体制の整備、被災者などの心のケア 	日本一安心して子どもを生み、育てやすい環境づくり、生き抜く力を育む人づくり、ふくしまの将来の産業を担う人づくり ★次ページで もっと解説!

ふるさとで働く：2,691 億円 (産業振興・雇用創出など)

農林水産業再生	中小企業等復興	再生可能エネルギー推進	医療関連産業集積
674 億円	1,852 億円	100 億円	65 億円
安全・安心を提供する取り組み、農業・森林林業・水産業の再生、区域見直しに伴う対応 	県内中小企業などの振興、企業誘致の促進、新たな時代をリードする新産業の創出、区域見直しに伴う対応 	再生可能エネルギーの導入拡大、研究開発拠点との連携、関連産業の誘致、県内企業の参入・取引支援、再生可能エネルギーの地産地消の推進	医療福祉機器産業の集積、創薬拠点の整備 

まちをつくり、人とつながる：956 億円 (きずなづくり・復興まちづくりなど)

ふくしま・きずなづくり	ふくしまの観光交流	津波被災地等復興まちづくり	県土連携軸・交流ネットワーク基盤強化
42 億円	19 億円	583 億円	312 億円
県内外避難者やふくしまを応援している人とのきずなづくり、復興へ向けた取り組みや情報の発信、避難している方とのきずなの維持	観光復興キャンペーンの実施、教育旅行の再生など観光と多様な交流の推進 	総合的な防災力向上、地域防災計画などの見直し、防災意識の高い人・地域づくり、土地利用の再編や復興のまちづくり計画策定および実施	「浜通り軸」の早期復旧・整備、生活支援道路の整備、道路ネットワーク構築、物流・観光の復興を支える基盤の整備、JR常磐線・只見線の早期復旧、広域的な連携・連絡体制の構築

平成25年度 福島県子ども・子育て支援策について

未来を担う子どもや若者を育成するための支援策を紹介します。

	妊婦	乳幼児 (0～6歳)	小学生 (7～12歳)	中学生 (13～18歳)
健康・発育	<ul style="list-style-type: none"> ● 妊産婦や乳幼児の保護者の相談体制の充実 ● 不妊・不育症の治療費助成・相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 18歳以下の子どもの医療費無料化、子どもの心のケア、児童相談体制の充実、児童虐待防止 ● 保育サービスの充実 ● 保育士の人材確保 ● 屋内遊び場の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中学生の陸上競技を通じた体力向上 ● 小中学生の体力向上推進 	
教育		<ul style="list-style-type: none"> ● 給食用食材の検査体制の支援、給食用食材への地場産品の活用支援 ● 屋外遊び場の環境づくりの支援 ● 子どもの自然体験活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中学生への放射線教育の支援 ● 小中学校における防災教育の充実 	
子どもの笑顔			<ul style="list-style-type: none"> ● 小中学生の学力向上推進 ● 小中高における理数教育の充実 ● 小中高におけるキャリア教育の充実 ● 小学生の外国語学習・異文化体験活動を通じた国際感覚の育成 ● 小学生の外国語学習・異文化体験活動を通じた国際感覚の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生への海外研修支援 ● 高校生が福島の復興・再生のアイデアを提案し、実践する取り組みを支援
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもや子育てを元気づけるイベントの開催 ● 子どもや子育て家庭を支援する民間団体の取り組みを支援 		<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民などによる子育て支援の推進 ● 企業などから子育て支援サービスを受けられるファミたんカードの配付 ● 子育てに関するニーズなどの調査研究 	



ふくしまからはじめよう。
ご当地キャラ子ども夢フェスタ
in 白河 (仮称)

キビタンをはじめ全国のご当地キャラが、子ども達に“笑顔と元気”を届けます。

9月21日(土)～22日(日)
白河市城山公園

変わります! 県政番組。内容も時間帯も大幅リニューアル

TV



県政を分かりやすく紹介

FTV

キビタン GO ! ～ふくしまからはじめよう。～
毎週 21:54～22:00

FCT

新生ふくしま ～ふくしまからはじめよう。～
毎週 16:55～17:00

復興への取り組みをお伝えします

FTV

サタふく
毎週 11:30～12:55

FCT

ゴジてれ Chu !
毎週 15:50～16:53

KFB

ふくしまスーパーJチャンネル
毎月最終 17:36～17:54

TUF

はぴスタ
毎月最終 9:55～10:50

番組内の
1コーナーで
紹介



新聞

福島民報・福島民友

県からのお知らせ

原則毎月第2・第4土曜日の翌日

明日の天気は?

キビタンの天気予報

FCT

ゴジてれ Chu !
日～金 18時台

ふくしまを知ろう
まとめてチェック!

1週間の県政の動きを紹介

KFB

ウィークリー県政トピックス
毎週 17:25～17:30

TUF

ウィークリー県政ナビ
毎週 11:40～11:45

観光地などのふくしまの魅力と今を紹介

フジテレビ
(関東ローカル)

ふくしまてくてく
毎週 11:40～11:45

FTV

ふくしまてくてく
毎週 11:45～11:50

※一部、放送曜日が変わることもあります。



ラジオ

rbc

知事室からこんにちは
ふくしまからはじめよう。ふるさとだより
毎月最終 12:30～12:45

ふくしまFM

ふくしまイブニングブレイク
月～金 17:30～17:35

ハンサムウーマン TV 新聞

強く・美しく・前向きに生きる「ふくしまのハンサムウーマンたち」を紹介します。

FTV

福島民報・福島民友

日経新聞

毎週 18:25～

毎週

毎月第4

広報誌バックナンバーや番組の詳細は 広報ステーション

検索

伝統に新しい風を吹き込む



新会津伝統美食研究会

県産品のPRにも貢献したい

▼八重桜羊羹(野崎シェフ)

☎新会津伝統美食研究会事務局
☎0242(85)7767
☎県庁農産物流通課
☎024(521)7371



▲会津赤かぼちゃの
ズッパイングレーゼ(鈴木シェフ)



▲ヒメマス八重の桜盛り(西シェフ)



▲身欠きニシンのまっ黒焼き(田代シェフ)



▲ニシン山椒漬け奉書巻き(山際シェフ)



▲取扱店マップ表紙

こづゆやしんの山椒漬けなど、数々の伝統料理が受け継がれて来た会津。新会津伝統美食研究会は、地元郷土料理や伝統食材を活用し、「食の文化でのおもてなし」を目的に平成24年10月に発足しました。本県

ゆかりの野崎洋光さん(古殿町出身/分とく山代表)、田代和久さん(川俣町出身/ラ・ブランシユ代表)、鈴木眞雄さん(郡山市出身/KIHAACHI総料理長)、西芳照さん(南相馬市出身/元Jヴィレッジ総料理長)、山際博美さん(郡山市出身/山際食彩工房代表)ら有名シェフと、福島県の食文化研究者・平出美穂子さんをアドバイザーに迎え、既存の伝統料理を現代風にアレンジ・進化させた新しい会津の伝統料理を考案。7回の研究会活動で料理の実演と会員間の意見交換を行い、61品目の新たなオリジナルレシピが誕生しました。



すずき まさお
鈴木 眞雄さん
(KIHAACHIレストラン/総料理長)



たしろ かずひさ
田代 和久さん
(ラ・ブランシユ代表)



のぎま ひろみつ
野崎 洋光さん
(分とく山代表)



ひらいで みほこ
平出 美穂子さん
(福島県の食文化研究者)



やまぎわ ひろみ
山際 博美さん
(山際食彩工房代表)



にし よしてる
西 芳照さん
(元Jヴィレッジ総料理長)

「八重の桜」の放映が始まり、会津への観光客の増加が見込まれています。食分野での観光資源の創出や、県産農林水産物の活用を通して、福島県の復興につながればいいですね」と、渋川さんも研究会の活動に期待を寄せています。

「例えば和風の棒だらに洋風ソースをプラスしてみる。そんな意外な組み合わせも、素材を生かす味にできるのはシェフの力が大きいと感じています。今までの郷土料理はもちろん大事なのですが、そこに現代の味覚のニーズに合ったアレンジをプラスしてバリエーションを多くすることは、新しい顧客の獲得にもつながります」と会長の渋川恵男さん。これらオリジナルレシピを自由に使用できる会員は、今年2月現在で228施設・329人となり、提供店はホームページや取扱店マップで紹介しています。4月中には62店舗が取扱店としてメニューの提供を始める予定であり、当面100店舗での提供を目標に、美食メニューの普及とPR活動に努めていきます。



新会津伝統美食研究会 会長
しぶかわ 恵男
渋川 恵男さん
<http://aizubishoku.com/>



ふくしまからはじめよう。 福島県復興シンボルキャラクター キビタンがゆく

三条マルシェ~ごった市@ホコテン」に 参加しました!

1月26日(土)

「ごった」とは「すごい」「いろいろなもの」という意味の越後方言で、その名のとおり、おいしいものや楽しいことがいっぱい、新潟県三条市で人気のイベントです。本県から三条市へ避難されている皆さんに、ふくしまの今をお伝えするため、キビタンもイベントに参加しました。来場者の皆さんから、応援のメッセージや



「また遊びに行くからね」「ふくしま大好き」など、温かい言葉をたくさんいただき感動したキビタン。キャラクターたちと一緒に参加したステージイベントで、ご支援への感謝をお伝えし、「復興に向かう元気なふくしま」をPRしてきました。



キビタンの写真コーナー キビフォト

今月号の
キビタン賞
キビタンの
ぬいぐるみをお
贈りします

ふくしま大交流フェア

東京国際フォーラム
平成24年12月24日



初めて見たキビタンにもビックリせず、「これがキビタンです!」という写真が撮れて良かったです。

キビタンの部屋



キビタンの活動の様子や、スケジュールなどを紹介。キビタンと会えるイベントをぜひ、チェックして!

キビタンの部屋

検索



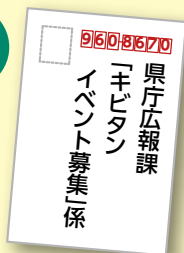
募集しています

ハガキ・電子メールまたはファクスでご応募ください
イベント

キビタンに
来てほしい

- ①キビタンに来てほしいイベント名
(地域のまつり、復興関連のイベント、幼稚園・学校のイベントなど)
- ②イベント内容 ③日時 ④連絡先(住所、担当者氏名、電話番号)

※特定企業の販売促進などのイベントは、応募できません。
訪問するイベントは選考させていただきます。



電子メールでご応募ください
キビタンとの写真

キビタンと撮ったよ

- ①撮影場所、イベント名 ②撮影日
- ③写真についてのコメント
- ④住所、氏名、年齢、電話番号

※紙面に掲載していい写真を応募してください
(写っている人の承諾は、応募者が得てください。)

写真の採用者へ
キビタングッズ
プレゼント!



ハガキ 〒960-8670 県庁広報課「キビタンイベント募集」係 ファクス 024(521)7901 電子メール yume@pref.fukushima.lg.jp

大相撲初場所の 優勝力士に 福島県知事賞の授与

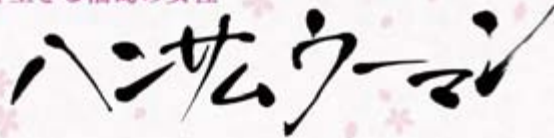
復興に向けた本県の姿や本県農林水産物の安全性や魅力を全国に発信するため、1月に開催された大相撲初場所で全勝優勝した横綱日馬富士関に、初となる福島県知事賞として金一封や副賞(県産米「天のつぶ」精米1,000kg)を贈りました。

今後3年間にわたり、大相撲本場所(両国国技館1・5・9月開催)において、県産米などの農林水産物を贈る予定です。

優勝杯(あかべこトロフィー)が、横綱日馬富士関に贈られました。



強く美しく生きる福島的女性



強く凛とした生き方、前へ進む向上心、他人を思いやるころ…。ハンサムウーマンと呼ばれた新島八重の魂を受け継いで頑張るふくしまの女性をテレビ、新聞、WEBなどで紹介しています。



ハンサムウーマン * Vol.1

ふくしま浜街道・桜プロジェクトリーダー
にしもと ゆみこ
西本 由美子さん

いわき市から新地町まで193kmの区間に桜を植樹。震災で一時途絶えたものの、将来子どもたちが誇れる桜並木にと、再び立ち上がり活動をしています。

新聞、テレビ(詳しくは7ページ)でも紹介しています。県のホームページで動画もご覧になれます。「福島県」で検索し、「ハンサムウーマン」のバナーをクリック!

福島県

検索

ふくしまの 今

試験操業を続けて
地道に放射能の確認を

福島県沖は黒潮と親潮がぶつかる好漁場。相双地域では、陸から比較的近い海域で行われる沿岸漁業が盛んで、カレイ類やヒラメなどが高値で取引されています。

原釜機船底曳船頭会長の松本浩一さんは、漁師歴43年。「たくさんの魚が網にかかった時のうれしさは、何ともいえないものだったなあ。相馬の魚はうまいし、全国的にも自慢できるも

原発事故以降、出漁の自粛が続いてきた福島県沖で、昨年6月に試験操業が始まりました。厳重な検査体制の下で、少しずつ市場への出荷も始まっています。



のだった」と振り返ります。

にぎやかだった港は原発事故以降、すっかり静かになってしまいました。22艘の底曳船も、週に1回ペースの試験操業以外は港に停泊したままです。「消費者に安心して食べてもらえるようになるまでは、我々も本格的に漁に出るのを我慢するほかない。地道に試験操業を続けて、放射線量を



本当に安全で、おいしい魚を
消費者に届けられるように――

原釜機船底曳船頭会長 ● 松本浩一さん (相馬市)



(上) 着実に進んでいる松川浦周辺の復興。整然と並ぶ船が本格的な漁業再開を待っています。

(右)「全てのことに必ず表と裏がある。豊かな海の“怖さ”に、人はいつでも思いを至らせないとはいけな

絆つないで

原発事故により、福島市飯野町に移転している飯館村立飯館中学校。震災後に岐阜県各務原市立中央中学校より支援を受けたことから交流を深めています。

飯館村立飯館中学校 [福島市飯野町]

☎024-573-1161



▲布を切り貼りしながら旗を作る生徒たち。



▲生徒一人一人が心を込めて作った校歌旗。

震災後にできた、新たな友達。 県境を越えて深まる絆。

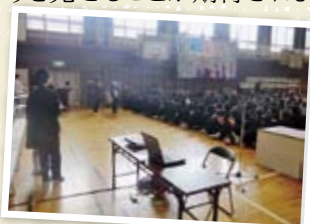
飯館村立飯館中学校と岐阜県各務原市立中央中学校の交流は、昨年2月に中央中学校からパソコンが贈られたことをきっかけにスタート。昨年8月に行われた飯館中学校の新校舎への引越しでは、中央中学校から生徒や教師、保護者らが手伝いに駆けつけてくれました。現在は、「テレビ会議」や両校の校歌を合唱した「合唱交流会」などで親交を深め、生徒同士の交流が広がっています。生徒会顧問の宮澤裕介先生は「生徒たちは感謝の思いとともに、交流を通して明るくなり、積極的になった」と話します。

2月15日(金)には、飯館中学校で中央中学校の校歌を記した旗の制作が行われました。これは、福島県と東京都などの共催で、アーティストの日比野克彦さんによる「マッチフラッグ・プロジェクト」の一環。今回は、両校の絆を深めるため、お互いに校歌旗を作り交換することになりました。飯館中学校の生徒約70名が、中央中学校の皆さんを思いながら、青や赤色の布で歌詞を一字ずつ丁寧に仕上げていました。飯館村の自然をイメージした樹木や花、動物を文字にするなど趣向を凝らし、カラフルな旗が完成。生徒会で2年生の菅野風希さんと巻野凌さんは「これまで以上に中央中学校のみんなとつながっている感じがした。楽しかった!」と笑顔を見せました。

飯館中学校には、中央中学校の生徒らが作成した校歌旗が飾ってあります。離れた場所からお互いを思い、絆を育んできた両校。その交流が生徒たちの笑顔とともに、ますます広がりを見せることが期待されます。



▲テレビ会議で校歌を披露した「合唱交流会」。



▲2月22日に岐阜県各務原市立中央中学校を訪問し、旗を交換。



▲生徒会顧問の宮澤裕介先生(右)と、生徒会の菅野風希さん(中央)と巻野凌さん(左)

確かめるしかないんだと思う」と松本さん。
松本さんも大震災の津波で家を失いました。陸に打ち上げられた船を見つめようやく修理に出しても、思うように漁に出られない日々が続きます。それでも今は「くよくよしても仕方ない」と受け止めています。
「漁師には今日は捕れなくても、きっと明日は大丈夫という望みがある。自分はずっとそう思って海で暮らしてきたからね。だからこそ、その日その日を大事に生きないと」。

大きな壁を乗り越え
次の世代に漁の技術を

試験操業で水揚げされているのは、放射性物質の数値が特に低く、ほとんどが「不検出」となっているタコやツブ貝など。当初の3種類から徐々に増やして、現在は13種類となりました。漁協に整備した放射性物質測定器とあわせて、県水産試験場でも適宜モニタリング検査を行い、安全性が確保されたものだけが出荷されています。事前検査で高い数値が出た魚種は、一切水揚げできません。

「漁の技術は一度途切れると、次の世代にはつなげられない。だから、我々の世代が、ここで何とかがんばらないと」と松本さん。「立ちはだかっている放射能の壁は、計り知れない。でも一度登り始めたんだから、若い人たちのためにも乗り越えていかないと」。

松本さんの夢は、「漁の本格的な再開まで現役の漁師でいること」。あの日の津波を乗り越えた船で、週1回の試験操業に向かいます。



(左)松川浦のノリ養殖も試験的に行われています。



(下)放射性物質の「不検出」が続くタコなどは、道の駅やスーパーでも販売され始めました。

喜多方市生涯学習課



喜多方市

蔵のまち喜多方 桜ウォーク2013

約1000本のしだれ桜の並木路や喜多方の豊かな自然・蔵並みを楽しみながらのウォークキング大会を開催します。受付会場は、喜多方市押切川公園スポーツ広場です。参加料(事前申し込み)は、大人500円、中学生以下300円(当日申し込みは200円増し)。詳細については、喜多方市ホームページをご覧ください。

☎0241(23)2116

4月27日(土)

二本松市

道の駅「安達」智恵子の里 下り線オープン

国道4号線下り線側にも、道の駅「安達」智恵子の里がオープンし、全国でもまれな上下線に施設のある道の駅となります。
下り線は情報提供や休憩所、地場産品直売はもちろん、ゆったりと過ごせるカフェや焼き立てパンのベーカリーがあり新しい魅力を発信します。



㈱二本松市振興公社

☎0243(61)3100

4月5日(金)

昭和村観光協会



昭和村

はかせ 博士山水芭蕉まつり

昭和村・小野川地区の水芭蕉としらかばの杜で「博士山水芭蕉まつり」が開催されます。ようやく雪解けを迎えた博士味のみもとで、水芭蕉が春を告げるように群生地二面に広がります。会場では、昭和村ならではの食材や郷土料理が並ぶ模擬店、ステージイベントなどをお楽しみください。

☎0241(57)3100

5月4日(祝)
みどりの日

新地町

チューリップ祭り

戦国時代、伊達氏と相馬氏が戦った際、戦場となった新地城跡。4月下旬には、「チューリップ祭り」が開催され、地元の人らによって植えられた約40種、3万本もの色鮮やかなチューリップが、咲き誇ります。チューリップの直売やイベント、地場産品の販売なども行われます。



新地町観光協会

☎0244(62)2112

4月20日(土)
～5月5日(祝)
(予定)

花の王国ふくしま

hana-no-oukoku 八重たんフラワースタンプラリー

花の名所100選を巡るスタンプラリー

開催期間 3月20日(土)～6月30日(日)

ガイドブックは道の駅・観光施設などで配布中!

スタンプを3個以上集めて 抽選で800名様に豪華賞品が当たる!

1等

JRゆづり商品券10万円分

2等

県内旅館ホテルペア宿泊券等

3等

Wii U 5台

4等

福島県特産品等 762名枠

詳しい情報はHPにて! 花の王国ふくしま 検索 問い合わせ先: 福島県観光交流課 ☎ 024-521-7398

磐梯吾妻スカイライン 4/8月～
磐梯山ゴールドライン 4/19日～
磐梯吾妻レークライン

浄土平駐車場も無料開放!

福島県観光有料道路

無料開放

全車両対象!!

磐梯吾妻スカイライン

※通行期間の最終日は、冬季閉鎖となる11月15日となります。 福島県道路公社 検索

県内の主なイベント

4月

相馬市 **桜まつり**

4月5日(金)~21日(日) / 馬陵公園
 ☎相馬市観光協会 0244-35-3300

田村市 **お人形様の衣替え**

4月中旬 / 田村市船引町芦沢地区・堀越地区
 ☎田村市商工観光課 0247(81)2136

会津若松市 **鶴ヶ城ライトアップ**

4月12日(金)~5月6日(休) / 鶴ヶ城公園
 ☎会津若松市観光課 0242(39)1251

郡山市 **笹原川千本桜まつり**

4月20日(土) / 親水公園前(下守屋)
 ☎笹原川千本桜まつり実行委員会 024-954-2154

湯川村 **勝常念佛踊り**

4月28日(日) / 勝常寺
 ☎湯川村ふるさとおこし協議会 0241-27-8840

埴町 **つつじ祭り**

4月27日(土)~5月6日(休) / 風呂山公園 他
 ☎埴町観光協会 0247-43-2112

5月

いわき市 **湯本温泉さつきまつり**

5月2日(木)~3日(祝)(予定) / 温泉神社、湯本駅前周辺
 ☎いわき湯本温泉さつきまつり実行委員会 0246-42-4322

天栄村 **二岐山山開き**

5月12日(日) / 二岐温泉(集合)
 ☎天栄村産業振興課 0248-82-2117

南会津町 **駒止湿原オープン**

5月19日(日) / 駒止湿原(南会津町側湿原入口)
 ☎南会津町商工観光課 0241-62-6200

古殿町 **流鏑馬大会春の陣**

5月26日(日) / 三株高原
 ☎古殿町産業振興課 0247-53-4620

北塩原村 **第32回 松原湖一周ファミリーサイクリング大会**

5月26日(日) / 休暇村裏磐梯(集合) 裏磐梯高原
 ☎裏磐梯サイクルフェスティバル実行委員会 0241-33-2311

その他の行事はホームページ [福島県内の主な行事](#)

福島空港 Fukushima Airport 3月31日(日)~5月7日(火) ※運航日、発着時刻は予告なしに変更される場合があります。

福島→札幌(新千歳)→福島	
10:25▶11:45	08:35▶09:55
18:20▶19:40	16:30▶17:50
福島→大阪(伊丹)→福島	
09:15▶10:25	07:40▶08:45
10:10▶11:20	08:35▶09:40
12:30▶13:40	10:55▶12:00
16:40▶18:00	14:50▶16:05
19:05▶20:15	17:30▶18:35

おかげさまで 開港20周年!!

福島空港は、平成25年3月20日に開港20周年を迎えました。これからも、県民の皆様への空の玄関口として、就航先とのさまざまな交流のお手伝いをさせていただきます。皆様のご利用をお待ちしています。

三春町の各時代と風俗や文物を今に再現する「三春時代行列」を町中心部で開催します。平安・戦国から幕末までの時代絵巻を、三春町へ避難されている富岡町や葛尾村の皆さんとともに、繰り広げます。時代行列のほかに、各町村の郷土芸能も披露されます。

三春時代行列実行委員会(三春町観光協会内)

☎0247(62)3690



三春の春を彩る。時代行列開催

5月5日(祝) こどもの日

東日本大震災の犠牲者の鎮魂と東北の元気を全国へ発信し、復興へ向かう熱い姿をPRする祭「東北六魂祭2013福島」が2日間にわたり開催されます。今年の福島開催では、県内12市も参加し東北と福島の魅力を一度に堪能できます。

東北六魂祭実行委員会事務局

☎024(525)3722



福島市
東北六魂祭2013福島

6月1日(土) ~2日(日)

県からのお知らせ

試験 警察官の採用候補者 (特別募集)

採用候補者試験を次のとおり行います。

募集職種 警察官A

(男性/一般、女性/一般)

受験資格

昭和54年4月2日以降に生まれ、大学を卒業した人、または平成25年9月末日までに卒業見込みの人

受付期間

3月26日(火)～4月12日(金)

第2次試験

5月12日(日)

問 県人事委員会事務局

☎024(521)7590

検索

募集 平成25年度県奨学生

本県の出身者で高校・専修学校の高等課程・大学・短大・高等専門学校に在学中の人を対象に、県奨学生を募集します。

応募方法

在学する学校にある奨学生願書に必要書類を添えて、学校に提出してください。

応募期限

6月の各学校の指定する日
※26年度入学予定者を対象とする「予約募集」、「大学等入学一時金」の募集は、7月に各学校または高校教育課のホームページを通じてお知らせします。

問 在学学校または県教育庁高校教育課

☎024(521)7775

福島県奨学資金

検索

募集 「ふくしま復興県民債」発行 復興へ向けた取り組みに 参加しませんか

対象 県内在住・勤務・本県出身の個人または県内に営業拠点がある法人・団体など

申込限度額

10万円～2千万円
(10万円単位)

発行総額

40億円

償還年限

5年

購入方法

東邦銀行、福島銀行、大東銀行、県内8信用金庫の本・支店で購入できます。(発行総額を超えた時点で終了)
詳しくは、取扱金融機関にお問い合わせください。

募集期間

5月17日(金)～27日(月)

利率

5月16日(木)午後12時決定予定

発行日

5月30日(木)

問 県庁財政課

☎024(521)7029

案内 「住宅用太陽光発電補助金」 受付中

県内の住宅に、太陽光発電設備を設置する人を対象に、一定の要件の下で、1キロワット当たり3万5千円(上限は4キロワット分、最大14万円)の補助金を交付します。

詳しくは、ホームページをご覧になるか、電話でお問い合わせください。

受付時間

午前9時～午後5時
(土日祝日除く)

問 県再生可能エネルギー推進センター

☎024(526)0070

福島県再生可能エネルギー推進センター

検索

募集 「第67回県展」 あなたの作品をお待ちして います

6月21日(金)～30日(日)に県文化センターで開催する「第67回県総合美術展覧会」の作品を募集します。

部門 日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書

応募方法

申込書に必要事項を記入の上、作品とともに次の日時に所定の場所に搬入してください。

搬入日時

6月4日(火)
午前9時30分～午後5時30分

搬入場所

県文化センター(福島市春日町)など県内10カ所

※開催要項申込書は、最寄りの県地方振興局や各市町村教育委員会で購入できるほか、ホームページからもダウンロードできます。

問 県庁文化振興課

☎024(521)7154

福島県展

検索



AIZU Medical Center
2013年5月11日 OPEN!

福島県立医科大学 会津医療センター

12日 入院診療開始
13日 外来診療開始

内覧会を開催します。
詳しくはHPをご覧ください。
会津医療センター 検索



(お問い合わせ)
公立大学法人 福島県立医科大学 法人経営室
福島市光が丘1番地 TEL: 024-547-1011
(所在地) 会津若松市河東町谷沢地内



Aizu Medical Center
診療科目
総合内科/漢方内科/循環器内科/血液内科/消化器内科/糖尿病・代謝・腎臓内科/感染症・呼吸器内科/神経内科/心身医療科/外科/小腸・大腸・肛門科/整形外科/脊椎外科/眼科/皮膚科/泌尿器科/耳鼻咽喉科/放射線科/麻酔科/病理診断科/歯科/リハビリテーション科/緩和ケア科 (22科予定)

施設インフォメーション

福島県立美術館 福島市森合字西養山 1 ☎ 024(531)5511

[福島県立美術館](#) [検索](#)

横尾忠則ポスター展

横尾忠則(1936年生まれ)は、第一線で活躍するグラフィック・デザイナー、美術家です。1950年代から現在までのポスターなど約400点によって、エネルギッシュな横尾芸術の軌跡をたどります。

●開催期間：4月20日(土)～6月16日(日) 午前9時30分～午後5時(最終入館は午後4時30分)

●観覧料：一般・大学生 800(640)円、高校生 600(480)円、小・中学生 400(320)円
*()内は20名以上の団体料金

●休館日：毎週月曜日(ただし4月29日(祝)と5月6日(休)は開館)、4月30日(火)、5月7日(火)

横尾忠則

《腰巻お仙(劇団状況劇場)》

1966年 国立国際美術館蔵



福島県立博物館

会津若松市城東町 1-25 ☎ 0242(28)6000

[福島県立博物館](#) [検索](#)

NHK大河ドラマ

特別展

「八重の桜」



戊辰戦争前後の会津時代から京都での活躍の時代まで、新島八重ゆかりの品々や同時代の資料を紹介し、素晴らしい八重の生涯をたどります。

●開催期間：5月17日(金)～7月3日(休)

●企画展観覧料：一般・大学生1,000円(20名以上の団体は一人800円)、
高校生・小・中学生は無料

●休館日：6月3日(月)、6月10日(月)



「結婚したばかりの襄と八重」
(同志社大学同志社社史資料センター蔵)

環境水族館

アクアマリンふくしま

いわき市小名浜字辰巳町 50

☎ 0246(73)2525

GWイベント

楽しい企画が盛りだくさん。

●開催期間：5月3日(祝)～5月6日(休)

●入館料：一般・大学生1,600円、
高校生・小中学生800円、未就学児無料

●年中無休

イベント期間は午後7時まで開館します。 [アクアマリンふくしま](#) [検索](#)



アクアマリンふくしま
蛇の目ビーチ

ビッグパレットふくしま

郡山市南二丁目

☎ 024(947)8010

[ビッグパレットふくしま](#) [検索](#)

4月20日(土)～21日(日)	2013春ニットフェア
4月22日(月)	福島県中小企業家同友会郡山地区献血イベント
5月3日(祝)～5日(祝)	再生!ふくしまKFBマンモスフリーマーケット2013

福島県文化センター

福島市春日町

☎ 024(534)9191

[福島県文化センター](#) [検索](#)

4月21日(日)	第31回 波恵ダンス発表会*
5月26日(日)	第25回 松栄おどり*
5月29日(水)	平成25年度古典劇場 野村万作・萬斎「狂言公演」*

コラッセふくしま

福島市三河南町

☎ 024(525)4098

[コラッセふくしま](#) [検索](#)

4月4日(木)～7日(日)	東北山岳写真家集団福島支部六人展
4月11日(木)～14日(日)	FTVカルチャーセンター書道教室作品展
5月16日(木)～21日(火)	第27回ふくしま緑の写真コンクール優秀作品展示

*有料のイベントです(他のイベントは入場無料)。

●予定につき内容が変更される場合があります。このほかにもたくさんのイベントが開催されます。

福島県文化財センター白河館 まほろん

白河市白坂一里段 86 ☎ 0248(21)0700

特別企画展「救出された双葉郡の文化財I」

原発事故の被災地を対象に行われた「文化財レスキュー事業」。搬出された、双葉町・大熊町・富岡町の文化財を展示し、この地域の歴史・文化・風土を紹介します。

●開催日時：3月7日(木)～6月9日(日)

午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

●観覧料：無料

●休館日：毎週月曜日



富岡町歴史民俗資料館での
文化財レスキュー

[まほろん](#) [検索](#)

主な震災関連相談窓口一覧

原子力災害	放射線に関する問い合わせ	電話相談窓口 月～金曜日：午前8時30分～午後8時 土 日 祝 日：午前8時30分～午後6時	☎ 0120(988)359 フリーダイヤル
	原子力損害賠償などに関する問い合わせ	電話相談窓口 月～金曜日：午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く) ※毎週水曜日午後1時～5時は弁護士による電話法律相談を実施 巡回法律相談 県内7方部において弁護士による無料の対面相談を実施(予約制)	☎ 024(523)1501
生活	県内の応急仮設住宅などへの入居及び被災住宅の改修に関する事	被災者住宅相談窓口専用ダイヤル 月～金曜日：午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎ 024(521)7698
	県内外に避難した人の相談窓口	県庁避難者支援課 または 避難元(先)の自治体 月～金曜日：午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く)	☎ 024(523)4157
健康	県民健康管理調査の実施に関する問い合わせ	県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 月～金曜日：午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎ 024(549)5130
その他	県政に関する相談窓口	県庁県民広聴室 県政相談コーナー 月～金曜日：午前9時～正午、午後1時～午後4時(祝日を除く) このほか各地方振興局にも県政相談コーナーがあります。	☎ 0120(899)721 フリーダイヤル ☎ 024(521)7017



復興の願いを込めて――

3種類のうち
いずれか1つ

「八重たんグッズと銘菓」が当たる！

問題

新しく考案した会津の伝統食により、観光客をおもてなししようと設立された研究会の名称は。

新会津伝統○○研究会

○の中に文字を入れてください。(ヒントは8ページ)



県民の声ミニアンケート

あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料などの備蓄(家族人数×3日分以上)をしていますか。(一つだけ)

- ① 3日以上の備蓄をしている。
- ② 備蓄はしているが、2日以下である。
- ③ 備蓄していない(理由を記入してください)。

●応募方法／ はがきまたはファクス、電子メールにクイズの答え、アンケートの答えと、本誌の中で興味を持った記事、ご意見・ご感想、県政に対する疑問・質問などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入してお送りください。正解者の中から抽選で30名様に、「八重たんグッズと銘菓」を差し上げます。

●締め切り／ 4月30日(火)当日消印有効
当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

電子メール yume@pref.fukushima.lg.jp

ファクス 024(521)7901

広報ステーション

検索



30名様に
プレゼント

▲八重たんクリアファイル・しおりと銘菓
※銘菓は3種類のうちいずれか1つだけ当たります。
どれが送られてくるかは、お楽しみ…。

9608670

県庁
広報課
「ゆめクイズ」係

クイズの答え 新会津伝統 ○○研究会

- ・県民の声ミニアンケートの回答(例)①
- ・興味を持った記事
- ・地元で誇りにしている宝
- ・本誌へのご意見、ご感想
- ・県政への疑問、質問など
- 住所 氏名 年齢
- 職業 電話番号

※アンケートの回答内容はクイズの当選には関係ありません。
※ご応募いただいた皆さんの個人の情報は、賞品発送に使用し、それ以外の目的には使用しません。
いただいたご意見などは、誌面に掲載する場合があります。

★4月号の正解は次号で発表！ たくさんのご応募お待ちしております。

前回(2月号)の正解は「**復興**」でした。(応募総数 1,183 通うち正解 1,180 通)

次回 (No.238) は 6月1日号です。